

令和3年度 学校評価自己評価書

学校名

北海道札幌養護学校

1 本年度の重点目標

□児童生徒が自ら活動に取り組み、必要な資質・能力を身につけ高められるよう「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視し、人との安定したやりとりの活性化や思考を深める学習活動を充実する。

2 本年度の経営方針

- 教職員一人一人の経営参画のもと、協働体制による計画的、組織的な運営を推進する。
- 改訂学習指導要領の背景、趣旨に応じて教育課程、教育環境等を改善・充実する。
- 各部署の機能的な連携や業務の効率化による、時間外勤務の縮減及び円滑な運営を推進する。
- 地域や保護者、関係機関等に教育内容・方法等を積極的に公開、説明することにより、より一層信頼される学校づくりを推進する。
- 地域の特別支援教育センターとしての役割を果たし、地域の学校、関係機関等との連携を充実する。
- 「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視し、言語環境、学習環境を整備・充実するとともに、合理的配慮を充実する。
- 校内支援体制を充実し、安全安心に配慮した学習環境を整備する。
- 危険回避や予防的な対応を重視し、迅速で機能的な危機管理体制を整備・充実する。
- 緊急性、必要性、優先性に基づいた計画的な予算執行及び円滑で適正な事務処理を推進する。
- 学校評価や学校評議員会等の外部評価を活用し、経営上の課題を明確にした改善・充実を推進する。
- 教育公務員として、身なりや言動に留意し、服務規律を厳正に遵守し、職責や役割を果たす。

【本年度の経営の重点】

- 「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視した情報共有、情報発信を進め、役割を明確にし、機能的な連携を深め、教育活動の改善・充実を進める。
- 校内組織体制、教育活動等の経営に関する課題の明確化や、改善・充実に向けた取組を推進する。
 - 教務、事務、各部間の事務処理等の効率化、迅速化及び機能的な連携による働き方改革を推進する。
 - 一人一人が職責と役割を自覚し、職員の相互理解と協働による円滑な職務遂行を推進する。

3 自己評価結果

- ◆ 評価段階：A（十分である、3.5以上）・B（おおむね十分である、3.0以上3.5未満）・C（不十分である、2.5以上3.0未満）・D（改善を要する、2.5未満）

	評価項目	達成状況 (教職員)	取組の適切さ (保護者)	検討事項・改善の方策等
1	人権尊重を基盤として、児童生徒のよさを活かし、可能性を最大限に引き出す指導に努めている。	A	A	・8割以上の保護者は、学校の取組を評価している。今年度は保護者からの自由記述による指摘はなかったが、教職員の自由記述では、教職員の言動や発達年齢を踏まえた関わり方について指摘があることから、児童生徒の人権尊重の意識を一層醸成していく。
2	活動選択や意思表示等により、児童生徒の主体的な活動を引き出し、やりとりの活性化をとおして思考を深める体験的な学習指導に努めている。	B	A	・保護者は、学校の取組を高く評価しているが、教職員は、取組が不十分と受け止めてい意見もあることから、より「主体的・対話的で深い学び」に向けた学習指導を推進していく。
3	キャリア教育の視点から、学校間、学部間の接続を考慮し、卒業後の生活を見据えた進路指導に努めている。	B	A	・今年度はコロナ対策により、各学部で予定していた進路懇談の中止や進路学習の縮小などを行ってきたことが保護者評価の減少に影響していると分析している。コロナ禍における進路指導の在り方について工夫していく必要がある。
4	ウェブページや学校だより、学年通信等で児童生徒の様子や学校の教育活動等をわかりやすく伝えている。	B	A	・教職員評価とは昨年より1ポイント上昇した。保護者の自由記述では、Web ページの見づらさを指摘する意見があった。また、コロナ禍で日常の学校生活を見る機会が少なくなったので、学年通信等でもう少し詳しく伝えてほしいという意見もあった。引き続き分かりやすい発信に努めていく必要がある。
5	新学習指導要領の趣旨を踏まえ、保護者や地域に本校の教育課程をわかりやすく伝えることができるよう理解に努めている。	B	A	・保護者は昨年度から1ポイント減少した。コロナ禍で地域を活用した学習も減少し、十分な活動やその発信ができていない状況が影響していると分析できる。コロナ禍における地域への発信について工夫していく必要がある。
6	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習指導の充実を図っている。	B	B	・教職員評価、保護者評価とも1ポイントずつ上昇した。タブレット端末等を活用したG I G Aスクール構想の取組が評価された結果と考えられる。引き続き I C T教育の一層の推進に努めていく。

7	個別の指導計画に基づいて行われた学習状況や結果を評価し、指導目標や指導内容、指導方法の改善を図っている。	B	A	・昨年から引き続き教職員、保護者ともに同ポイントであった。保護者には、学校の取組が着実に理解されている。教職員も説明を丁寧に行っていることから、引き続き指導に対する目標の設定や評価、改善の充実を一層図っていく。
8	ICT 機器を活用し、児童生徒にわかりやすく、主体的に活動できる授業作りを図っている。	B	A	・今年度から主体的な学びを進めるための授業づくりという質問内容に改訂し、教職員は更にICT機器の活用という視点を設けた。保護者からは、高評価の回答をいただいている。教職員は不十分と考える意見もあり、引き続き研修等を重ねながらICT機器の活用を進めていく必要がある。
9	児童生徒の健やかな成長を図るため、コロナ禍における創意工夫あるPTAの活動に努めている。	C	A	・今年度もコロナ対策により、PTA総会を書面審議としたり、各部会の活動を中止したりしている。しかし、オンラインで役員会を開催したり、PTA研修部主催で「zoom 接続練習会」をオンラインで複数回開催するなど、創意工夫あるPTA活動を進めることができ、保護者、教職員ともにポイントの上昇に繋がったと考える。
10	いじめ、体罰や不適切な言動等のない安心・安全な学校づくりに努めている。	A	A	・保護者評価及び教職員評価ともに昨年同様に高い評価を得ている。今後も指導の一層の充実を図るとともに研修等と通じて児童生徒の人権尊重の意識を醸成していく。
11	「学校の新しい生活様式」など、国や道の通知に沿って、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めている。	A	A	・教職員評価、保護者評価ともに、上位評価を占めており、昨年同様に一番評価の高かった項目である。「学校の新しい生活様式」の推進や感染症発生時の対応などにおいて、教職員の共通理解を図り、保護者の理解、協力をいただくことができた。今後も子ども達の安心・安全を守るために感染症の拡大防止に努めていく。

	評価項目	達成状況 (教職員)	検討事項・改善の方策等
本校 設定 項目	「わかりやすさ」「伝わりやすさ」を重視し、人との安定したやりとりの活性化や思考を深める学習活動の充実を図っている。	A	・今度から設問内容を改訂し、より学校の経営の重点を踏まえた教育活動の推進状況を評価できるようにした。教職員の評価は「よくあてはまる」が過半数を超え、概ね達成できていると分析できる。引き続き、教職員の研修活動なども充実させ、学習活動の充実を図っていく必要がある。
	「ワークライフバランス」を意識した働き方を心がけるなど、健康でやりがいをもって勤務できるよう、業務の改善を図っている。	B	・出退勤管理システムの導入され、一年が経過し、勤務時間の実態を数値的に教職員に提示し、具体的な削減目標等を呼びかけることができた。しかし、全体的に業務量過多のため、2ポイントの減少になった。各運営組織において業務内容の整理・廃止を進めるなど、具体的な業務の改善を図っていくことが必要と考える。
	道徳教育を通じて、児童生徒に自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の育成に努めている。	B	・昨年度同様に評価を意識した道徳教育の取組に向けて、教育課程研修等を通じて各学部ごとに理解を深める取組を推進してきた。引き続き、道徳教育の目標や指導内容、評価の在り方について整理していく必要がある。
	各教科、各領域及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導に努めている。	B	・コロナ禍の感染拡大防止に関わる対応のため、学校や学部での学習活動が減少し、学年単位での教育活動が中心となったことから、2ポイントの減少になったと分析している。実際の学習場面の小集団での対応は今後もしばらく継続していく可能生が高いため、学習の計画段階で目標や内容の系統や関連が図れるよう工夫していく必要がある
	特別支援学校職員としての専門性を高める研修を実施し、児童生徒の指導や分掌業務に活かしている。	B	・コロナ禍の研修の在り方としてオンラインに寄る研修が定着し、予定していた長期休業期間中のICT研修会もオンラインで実施することができ、研鑽を高めることができたと考える。今後も引き続き、教職員の学びの保障も大切に、専門性の向上を図っていききたい。

4 自己評価における特記事項

- 昨年度新たに見直した、「3カ年継続の学校評価」の3年目として実施する。今年度、重点的に取り組んできた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の項目を追加し、評価する。

5 保護者学校評価の自由記述の項目

学習指導・生徒指導	授業参観・行事	コロナ禍の学習の工夫	家庭との連携	Web ページ
-----------	---------	------------	--------	---------

6 教職員学校評価の自由記述の項目

生徒指導	働き方改革	業務の効率化と適正な校内人員配置	危機管理	教育課程	施設設備
------	-------	------------------	------	------	------